

交通安全情報

令和4年7月号

交通安全協会
沼津地区支部



車を安心・安全・快適に運転するために



夏場は車内が高温になり、暑さからくる気の緩みや疲れが原因でぼんやり運転を引き起こしやすくなります。

集中力や注意力が低下すると、交通事故を起こす危険が高まるため、注意しましょう！

- * エアコンの適切な利用
- * こまめな休憩
- * 正しい姿勢で
疲れにくい運転

休憩時は
15分程度の仮眠が
効果的！



正しい運転姿勢のとりかた

頭

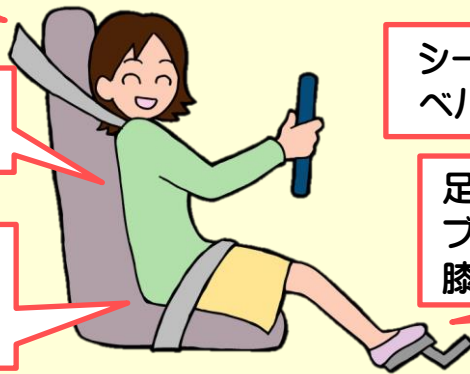
ヘッドレストと頭の位置を同じにする
※頭が低い位置にあると、万が一の衝突の際に首を痛める原因に

背中

シートに背中をつける

腰

隙間ができないように座席に深く座る



身長135cm未満の子どもには
チャイルドシート・ジュニアシートを
正しく着用させましょう！



シートベルト

ベルトのねじれや緩みはありませんか？

足

ブレーキペダルを十分に踏み込んでも膝が軽く曲がる程度に



サンダルやかかとの高いヒール靴は、脱げやすい、ヒールがペダルに引っかかる等、ペダル操作時に誤操作の恐れがあります※



※道路交通法第70条

車両等の運転者は、当該車両等のハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、道路、交通の状況に応じ、他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転しなければならない



7月11日(月)から7月20日(水)まで
夏の交通安全県民運動

